

## 緑の担い手

# 「緑の雇用」 研修生になって

常陸大宮市森林組合  
助川茂樹

私は、林業とは無関係の職業から、現在の常陸大宮市森林組合に転職しました。林業を全く知らなかった私にとって、緑の雇用研修制度は、林業について学ぶことができる良い機会でした。チェーンソー・刈払機・高性能林業機械を扱うための資格取得から、機械整備、測量、造林・伐木・造材・搬出作業など、多岐にわたる作業を基礎から学ぶことができ、林業の現場で欠かせない知識と技術が網羅されている素晴らしい研修内容です。

林業には、作業方法や安全対策の向上が常に求められます。この研修では、最新の情報を研修の場で提供していただき、現場作業の効率化や安全性の向上などを強く考えるきっかけになりました。実際に植栽作業を行った時には、林業経験の浅い私でも、研修で学んだコンテナ苗の正

しい植え方や管理法が非常に役に立ちました。

また、この研修に参加したことで、他社・他組合の研修生と交流することができました。林業のやりがいや辛いことなど、この仕事に対する様々な思いを共有・共感できる同期生に出会えたことも、仕事を続けていく上での大きな励みになっています。

この研修で学んだ知識と取得した資格を活かして、地元の方々に「森林組合に任せて良かった」、と言ってもらえるような森林整備ができるように、誠実に仕事に取り組んでいきたいと思っています。



## 北から 南から 鹿嶋市で県産木材を使った お箸づくり体験を実施

銚田林業指導所

去る11月10日、鹿嶋市内のショッピングセンター「チェリオ」において、子供達の自立心育成のために体験学習を行う「特定非営利活動法人あつとホームたかまつ」と連携し、同法人が主催するイベント「秋のわくわくワークショップ」において、県産木材を使ったお箸づくり体験を実施しました。

当日は、約50人の子供達がお箸づくりを体験しました。カンナの使い方や手間取る子供もいましたが、出来上がった後に感想を聞くと、「楽しかった」と話し、自分で作ったお箸を嬉しそうに持ち帰っていました。中には、お箸の材料や削りカスを手に取り、匂いを嗅ぐ子供もおり、木のぬくもりや香りを感じながら、木工作業の楽しさを体験してもらえたようでした。日頃、同法人の活動に参加している子供達からは、「お手伝いをします」と声をかけられ、片づけなどを手伝ってくれたほか、通りかかる人に声をかけてお箸づくりを誘う姿も見られました。

また、参加した子供達やそれ等待つ親御さんに、お箸の材料となった間伐材を利用することの意義や、森林の持つ様々な働きと林業の役割について説明したところ、「森林を元気にするために、今後は木をもっと使っていきたい」といった意見を聞くことができました。

当林業指導所では、引き続き、このように多くの人が集まる機会を捉えながら体験学習を実施することで、森林・林業に対する県民意識の醸成を図ってまいります。

